

今号の主な内容

- 2頁 東京都議会議員選挙
- 3頁 平成25年度介護保険料の決定のお知らせ
- 4頁 第12回中央区ブーケ祭り
- 7~5頁 情報コーナー (保健・医療・福祉/講座/スポーツ/催し物/その他)

区のおしらせ



中央

6/11

中央区ホームページ <http://www.city.chuo.lg.jp> (「区のおしらせ 中央」もご覧いただけます)



▲第24回東京湾大華火祭

第25回 東京湾大華火祭

8月10日(土) 晴海埠頭

別表 個人協賛席の申込方法

会場	晴海個人協賛会場	日の出会場	豊洲第一会場
Pコード(※)	624-170	624-171	624-172
会場の特徴	打ち上げ場所から一番近い個人協賛会場です。	水面から打ち上がる花火が見える会場です。	豊洲駅に近く、アクセスが便利です。ゆっくり楽しめる広い会場です。
購入口数	1人4口まで		1人6口まで
申込方法	6月19日(水)午前10時から ○電話予約 初日(6月19日(水)のみ):0570-02-9910 2日目以降(6月20日(木)から):0570-02-9999 予約後3日以内にセブンイレブン、サークルK・サンクス、ぴあのお店で引換(発券)してください。 ○店頭申込 セブンイレブン、サークルK・サンクス、ぴあのお店 ○インターネット申込:ホームページアドレス http://pia.jp/t/tokyowan-hanabi/		

※Pコードは電話予約の際に必要となります。
○いずれも先着順。各会場とも完売次第、申込受付を終了します。

25回目を迎える東京湾大華火祭。今年も尺五寸玉をはじめ、好評の芸術玉(尺玉20発)など約1万2千発の花火が夏の夜空いっぱいに広がります。

日時
8月10日(土)
午後6時50分~8時10分
◎荒天の場合は翌11日(日)に順延し、両日ともに荒天の場合は中止となります。

内容
尺五寸玉(45cm)10発、尺玉(30cm)1000発を含む約1万2千発

観覧会場
①晴海主会場 (約5万人収容)
②晴海第二会場

(約4万2千人収容)
①、②の会場については、入場整理券(無料)が必要で、入場整理券の応募方法については「区のおしらせ 中央」6月21日号でお知らせする予定です。

③豊海運動公園会場 (約8千人収容)
③の会場については、入場整理券は必要ありません。ただし、会場が満員となり次第、入場制限を実施します。

個人協賛金の募集
東京湾大華火祭を多くの皆さんに支えていただくため、個人協賛金を募集します。ご協賛をいただいた方には、

「晴海個人協賛会場」、「日の出会場」、「豊洲第一会場」のいずれかにご招待します。招待会場は全て椅子席です。荒天による中止以外の理由で協賛金はお返しできませんのでご注意ください。

協賛金額
・晴海個人協賛会場、日の出会場 1口7千円
・豊洲第一会場 1口5千円

募集口数
・晴海個人協賛会場 5千口
・日の出会場 3150口
・豊洲第一会場 4千口

招待人数
1口につき1名(3歳以上)

別表参照
企業協賛金の募集

実行委員会では、企業から

中央区精神障害者地域活動 支援センター愛称名募集

精神疾患や精神障害のある方が安心して過ごせる居場所、気軽に相談できる場として地域活動支援センターを10月にオープンします。

区では、皆さんに親しみをもって施設をご利用いただけるよう、愛称名を募集しています。たくさんのご応募をお待ちしています。

応募資格
区内在住・在勤・在学者

賞品
区内共通買物券5冊(5万5千円分)

◎採用された愛称名の該当者が複数の場合は、抽選または分配となります。

応募方法
6月28日(消印有効)までにはがきに①愛称名②その愛称名をつけた理由③住所④氏名

◎詳しくは区ホームページまたは応募用紙をご覧ください。
※応募(問合せ)先
〒104-1840
中央区築地1-1-1
障害者福祉課障害者施策推進室
☎(3546)5389
FAX(3544)0505

の協賛金を募集しています。ご協賛いただくと、大会プログラム、華火祭のホームページに社名・団体名を掲載させていただきますとともに、晴海主会場などへの入場券を贈呈します。

また、今年から、20万円以上のご協賛をいただいた企業・団体には、大会プログラムと新聞折込チラシ内に広告の掲載が可能となりました。詳しくはお問合せください。

主催
東京湾大華火祭実行委員会、中央区、朝日新聞社

※問合せ先
東京湾大華火祭実行委員会事務局(地域振興課地域事業係内)
☎(3546)5339

海の安全をめざして——先日、晴海埠頭で東京消防庁主催による恒例の「水の消防ページェント」が5500人もの観衆の見守る中で盛大に開かれました。主役は4月30日に就航したばかりの国内最大の消防艇4代目「みやこどり」。「すみだ」「かちどき」など他の8隻を従えて登場。3代目に比べて総トン数は76トン増の195トン、全長も約11メートル長い43.2メートル、放水能力は毎分7万リットルで、ポンプ車35台が一斉に放水したのと同じ量ということ。分列航進、航行放水、一斉放水などでは3機の消防ヘリコプターや最大時速90キロを誇る水上オートバイも参加し、ヘリからの投下放水も実演しました。さらに水上バス火災の消火活動、水に落ちた人の救助活動などでは消防艇、ヘリ、水上オートバイの見事なチームワークぶりが披露され、大きな拍手が起こっていました。近年、東京消防庁管内での大きな水難事故や水上バスの火災などは少なくなっており、3代目「みやこどり」は東日本大震災で市原市のコンビナート火災にまで出動しました。

中央区長 多田美英

